

平成 26 年度大気中のアスベスト濃度調査結果

環境大気中のアスベスト濃度について、平成 26 年度は夏季及び冬季の年 2 回、右表の 8 か所で調査を行いました。

調査結果は、世界保健機関（WHO）の環境保健クライテリア*と比べて低い濃度でした。

参考：世界保健機関（WHO）の環境保健クライテリアにおいて、「世界の都市部の一般環境中のアスベスト濃度は 1～10 本/L 程度であり、この程度であれば、健康リスクは検出できないほど低い。」と記載されています。

*「環境保健クライテリア」とは、化学物質等が人の健康や環境へ与える影響について、専門家による評価をまとめたものです。

測定場所	平成 26 年度夏季	平成 26 年度冬季
川崎区（田島町）	0.10	0.10
幸区（戸手本町）	0.10 未満	0.10 未満
中原区（小杉町）	0.10 未満	0.10 未満
高津区（溝口）	0.10 未満	0.10
宮前区（宮前平）	0.10	0.10 未満
多摩区（登戸）	0.14	0.12
麻生区（百合ヶ丘）	0.10	0.10 未満
沿道（池上町）	0.10 未満	0.10

単位：本/L（1Lの空気中にあるアスベスト繊維の本数）

問い合わせ：環境局環境対策課 TEL 200-2526 FAX 200-3922

「大切な大気のはなし」を発行しました

川崎市環境総合研究所では、大気環境と人々の暮らしのつながりを知ってもらうことを目的に、小中学生向けの環境学習用冊子「大切な大気のはなし」を発行しました。

PM2.5 などの説明や過去の川崎市の大気汚染の状況などを、イラストや写真等を豊富に使用しわかりやすく説明しています。

この冊子は、区役所、図書館など各公共施設を始め、市立小中学校の図書室にも配布しています。大気環境に興味がある方、勉強されたい方、ぜひご活用ください。

●配布・閲覧場所：

区役所、市民館、図書館、市立小中学校図書室、かわさき宙と緑の科学館（青少年科学館）、かわさきエコ暮らし未来館、環境総合研究所 ほか

※市のホームページからもダウンロードできます。

<http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-3-8-17-1-0-0-0-0.html>



【大切な大気のはなし】

問い合わせ：川崎市環境総合研究所事業推進課 TEL 276-9001 FAX 288-3156
〒210-0821 川崎区殿町 3-25-13 川崎生命科学・環境研究センター (LiSE) 3階

「川崎港の公園周辺の生きもの」の冊子を作成しました

平成 23 年度から平成 26 年度にかけて、川崎港の公園周辺に住む魚や底生生物の調査を実施しました。今回、その調査結果について、生きものの写真やイラストを多く用いて、分かりやすくまとめた冊子を作成しました。環境教育やレジャーなど、多くの場面でこの冊子を活用していただき、川崎港に住む生きものに少しでも興味を持っていただけたら幸いです。

冊子は、環境対策課のホームページからダウンロードできますので、ぜひご活用ください。

市ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000065477.html>



【川崎港の公園周辺の生きもの】

問い合わせ：環境局環境対策課 TEL 200-2520 FAX 200-3922

公害病被認定者数 1,407 人
(認定者総数 6,038 人－認定失効者数 4,631 人)
認定失効者数 4,631 人
(治癒等 2,076 人＋死亡者数 2,555 人)
平成 27 年 3 月末現在（健康福祉局）

発行編集
川崎市環境局総務部環境調整課
電話 044 (200) 2387 (直通)
E-mail 30kantyo@city.kawasaki.jp

